



きずな

5部Pブロック

5部リーグPブロックは、ベアフット北海道ホワイトU-12・南月寒・JSN サッカークラブアクア・羊丘・八軒西・FIELD FC・FC当別の7チームリーグで行われました。



Pブロックは天候に恵まれた日が多いリーグだったと思います。試合はどのチームも勝利するチャンスを持っていて、どの試合も白熱した試合ばかりでした。

パスワークに優れたチームや全員で攻守に渡りしっかりと連動するチーム等、素晴らしいチームが多く、それぞれのチームに特徴がありました。



結果は、優勝：ベアフット北海道ホワイト 2位：南月寒 3位：JSN サッカークラブアクア 4位：羊丘 5位：八軒西 6位：FIELD FC 7位：FC当別

ベアフット北海道ホワイトは無敗で優勝となりましたが、2位・3位昇格争いが最終節まで出来、最後まで見応えのあるリーグでした。

Pブロックはチーム一体となって応援するチームが多く、駐車マナー等を含め、リーグ一体となって進めることができたと思います。

また、審判については、4級審判員の方々が積極的に審判を行い、リーグ戦で実践を重ねることが出来、審判のスキルアップにもつながりました。

最後に会場を提供していただいた、各チーム関係者の準備に感謝申し上げます。

4部リーグ Jブロック

4部 J ブロックは、石狩FC ホワイト、八軒、花川南イレブン、c e r e z a、琴似中央、藤野FC、FCコラージュ平岡公園、新発寒の8チームで戦いました。各チームとも6年生がよく声を出し、それぞれのチームの持ち味を発揮して、拮抗した試合が多く活気あるリーグ戦となりました。台風による雨で開催が難しいと思われる日もありましたが、予定通り9月1日（日）までに終了できました。



4部Jブロックの指導者の方々は今年度からプレーオフへの出場の道が狭くなりましたが、昇格及び入れ替え戦に向けて選手を鼓舞し、リーグ戦が進むにつれて着実に成長が感じられました。



優勝は新発寒、準優勝がFCコラージュ平岡公園、3位八軒、4位花川南、5位石狩FC ホワイト、6位c e r e z a、7位藤野FC、8位琴似中央の順位でしたが、最終戦で優勝が入れ替わるなど最後まで熱戦が繰り広げました。

優勝した新発寒はチームワークが素晴らしく安定した試合運びでリーグ戦を1敗で乗り切りました。準優勝したFCコラージュ平岡公園もまたパスワークが素晴らしいものがありました。Jブロックとしては各チームの選手が楽しく、時には厳しく試合を行っていたことがうれしく思われました。

優勝した新発寒はチームワークが素晴らしく安定した試合運びで

大会運営については、学校行事だけではなく地域活動を考慮した日程を組んだため全チームが揃わない日もありましたが、各チームに指導者・保護者の協力により無事全日程を終わることが出来ましたことに感謝します。また、東雁来公園グラウンド(人工芝)、江別飛鳥山公園グラウンド(天然芝)を連盟及びc e r e z aの協力により使用できました。よりよい環境で試合が出来たことに感謝します。

